



# 福井県社会福祉協議会 アクションレポート

令和 8 年 3 月 9 日 No.17

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課

〒910-8516 福井市光陽 2 丁目 3-22

TEL 0776-24-2339 / FAX 0776-24-8941 / E-mail somu@f-shakyo.or.jp

このアクションレポートは、本会の主な事業等の進捗を定期的にお知らせするために、役員および関係機関向けに発行させていただくものです。

## Contents

- ✓ 若手人材の考え方に触れる「介護事業所採用力強化ワークショップ」
- ✓ 介護の魅力発信アンバサダーによる高校での出前授業
- ✓ 介護の現場で外国人が活躍！技能実習から特定技能へ
- ✓ ダイナソーボーンで「ともに」を深掘り  
～東海北陸ブロック・地域福祉実践研究フォーラム in ふくい～

## 若手人材の考え方に触れる 「介護事業所採用力強化ワークショップ」



パネラー（若手介護職員）との座談会

### 基本目標 2

地域と福祉を支える  
担い手づくり

### 関連する SDGs ゴール



本会では、県内介護事業所における若手・中堅人材等の採用（新卒・中途）と定着を促進するため、当該世代の生の声を聞く機会となるワークショップを 2 月 20 日に福井県立大学 永平寺キャンパスにて実施しました。（13 社参加）

ワークショップでは、事業を受託する株式会社 akeru（人材コンサルティング業者）の進行のもと、介護事業所（経営者、人事担当者、管理職など）とパネラー（現役大学生、若手介護職員、大学教員）が座談会を行い、価値観（仕事観、人生観など）や、お金や時間の使い方等について意見交換しました。

参加した事業所からは、「学生や若者の生の声が聞けて良かった」「採用や離職予防、情報の発信方法等、いろいろ聞けて良かった」などの感想があり、今後の介護人材の採用と定着に向け、パネラーから参考となる多くの意見等をいただき有意義なワークショップとなりました。

## 介護の魅力発信アンバサダーによる高校での出前授業



**基本目標 2**  
地域と福祉を支える  
担い手づくり  
**関連するSDGsゴール**



アンバサダーによる授業の様子

本会では福祉施設・団体の協力のもと、介護職員が「介護の魅力発信アンバサダー」として県内の小・中学校へ訪問し、介護の仕事の内容や、やりがいなどの魅力を発信する活動を支援する事業を実施しています。

本年度からは高校も訪問先に含まれるようになり、12月15日に敦賀気比高等学校にて、社会福祉法人敬仁会のアンバサダーによる出前授業を実施しました。（1・2年生 12名参加）

授業は、事業を受託する株式会社 akeru（人材コンサルティング業者）の進行のもと、生徒とアンバサダーが意見交換するパネルディスカッション形式で行われ、参加した生徒たちからは「対話形式で話をしてくれたため分かりやすかった」「介護の話聞いて大変だと思ったこともあったけど、やりがいもあるということもわかった」「介護は一方的な仕事だと思っていたけどお互いに得るものがあるということを知れた」など、介護に対する理解やイメージアップに繋がったとの感想を多くいただきました。

なお、本年度は同様の出前授業を啓新高等学校や鯖江高等学校など計5校で実施しました。今後も小中高校生世代に向けた介護の魅力発信に引き続き取り組んでまいります。

## 介護の現場で外国人が活躍！～技能実習から特定技能へ

**基本目標 2**  
地域と福祉を支える  
担い手づくり

**5つのチャレンジ③**  
福祉・介護で働く  
在日外国人への支援  
**関連するSDGsゴール**



タイ人技能実習生（8期生）

本会では、県や県介護福祉士会と連携して、タイとミャンマーから県内高齢者・障がい者福祉事業所へ技能実習生・特定技能外国人の受入れ支援を行っています。

令和4年4月にタイ人技能実習生1期生となる6名が入国してから、これまでに63名（県内21事業所）の受入れ支援を行っています。



入国後講習で介護実技を学ぶ様子

今年度、タイ人技能実習生 1 期生・2 期生の 13 名が 3 年間の技能実習を修了しましたが、内 9 名は引き続き同じ事業所で特定技能へ移行して働いています。

彼らには引き続き、県内の介護現場で活躍していただき、定着してもらえよう、本会としても支援をしていきます。

本会では毎年、定期的に受入れ支援を行っています。詳しくは、福祉人材課（外国人材部門）TEL0776-24-0086 までお問合せください。

## ダイナソーボーンで「ともに」を深掘り ～東海北陸ブロック・地域福祉実践研究フォーラム in ふくい～

**基本目標 1**  
社会的孤立を生まない  
地域づくり

**基本目標 3**  
制度の狭間を生まない  
包括的支援体制づくり

**関連するSDGsゴール**



実践報告の様子



グループワークの様子

令和 7 年 12 月 6～7 日福井県国際交流会館において、全国各地から大学教員や社協職員、地域活動者など 50 名が参加し、地域福祉実践の在り方を探求するフォーラムを開催しました。

実践報告では、①福井県立大学・福井県社協、②勝山市社協、③池田町社協の 3 団体から、学生や子どもたちが主体で行う地域づくりの実践活動や福祉課題の解決に取り組む事例を報告いただきました。

その後のグループワークでは、フィッシュボーンチャート（特性要因図）を福井オリジナルの「ダイナソーボーン」にアレンジし、実践報告の内容や参加者が考える『ともに』の本質についてより深く掘り下げました。



原田正樹氏（日本福祉大学長）による総括講演



ダイナソーボーンによるワークの成果

2日間を締めくくる総括講演では、国の「地域共生社会の在り方検討会議」構成員を務める、日本福祉大学長 原田 正樹氏が登壇。実践報告やグループワークでの成果に触れながら、豊かな生活を支える基盤としての「役割」の重要性、そして一人ひとり考え方や価値観の違いを理解し合う意義についてお話いただきました。

参加者にとって多くの学びと気づきが得られ、今後の地域福祉実践の向上に大きな示唆を得る2日間となりました。

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 総務企画課  
 〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22  
 TEL 0776-24-2339 / FAX 0776-24-8941 / E-mail [somu@f-shakyo.or.jp](mailto:somu@f-shakyo.or.jp)



ホームページ



YouTube



Facebook